



明治廿九年
の大地震

8

51797



奥羽ノ大地震

明治二十九年八月三日 盛岡市長清岡等日記

八月二十三日以未時々地震アリ山岳鳴動ノ氣味アリテ人々奇怪ニ
思ヒ居リシガ果セル哉三十日午前九時頃地震甚シク午後四時四十分尚
又甚シク殊ニ五時五分ニ於ケル地震ハ一層劇烈ヲ極メ且其時間
長カリシ時ニ予ハ南部利祥君ノ御本發ヲ見送ラントシテ停車場
場ニ向テ歩行中仁王小路多田綱宏氏ノ門前ニ於テ此地震ニ逢リ
(中河原助役ト同行)唯見ル大地震動ニテ地上ノ溜水ハ左右ニ揺キ樹木
鳴リ家屋鳴リ身体倒レトシテ歩行ニ難シ漸クニシテ停車場ニ
至レハ西ニ方リテ山岳鳴動ノ響音殊ニ甚シク必ラス其所ニハ大

地震ノアリニテ推察セリ暫クニテ北方ハ好摩ニ於テ鉄
道線路ノ破壊アリ又南方ハ日詰ニ至ル間線路屈曲ニテ汽車
通行ニ能ハサルヲ聞キ南部利祥君亦又ニク帰邸セラレ
此夜地震時々起リ危険ナルヲ以テ市民ヲ警戒ニテ家々
ランプヲ廢シ代フルニ燭燭ヲ用ヒシメタリ市民ハ途上ニ
テ數キ一夜ノ兩路宿ニタルモノ亦數ナカラス右地震ニ
就キ各地被ノ情况ハ新聞紙ノ報スルニ処詳細ナリ即チ
左ノ如シ

(ハ下八月廿廿音山岩手公報)

怪シカラぬ地震一昨日午後三時四十分俄然地軸ヲ撼カシ未
地震動は皆人の知る所あるが盛員は二十年來ニ之れ無ク地震
にして外ニ燭燭きりものやい地郷音に足打水ありと今日午
後一時過キにも大砲の如き音地に郷音きて聞へ又昨日午前九時

にも前全様の大地震ありたり通常の震動と違ひ一種底氣
味悪キ震動なれば復たも海嘯とか或ハ山山明れとかの及
事なきやと人々危懼し居れり

大劇震盛岡及各地電報

○花巻郡長ヨリ發電 午後五時十分發

一花巻里川口の兩町潰家三十餘戸土藏及半潰未詳

○山田町仮病院内日下部縣屬より午後七時

一今日數度地震あり午後五時五分強震有り院内患者動揺した
るも無事に済む市民狼狽して病院等に逃避今西雜音中なり
○水沢郡長より午後六時十分發電

一本日午後五時三十五分強震あり廳舎所々壁落ち民家多少
被害アリ

○花巻郡長より再電午後八時三十分
強震後微震度々あり人民皆露宿焼出給與子

○氣仙郡長ヨリ午後五時三十五分発電

當地甚しき地震あり其地模様如何

○宮古町午後八時三十五分発電

今朝より強震二回微震六回宮古にて土藏一崩れ其他損
害破損あり人心恟々たり

○九戸大川目ヨリ午後五時二十五分

今強震あり家傾き壁壊裂死傷ナシ

○福岡警察署午後六時三十分

只今劇烈ある地震あり

○釜石町ヨリ発電

當地八回の強震あり海嘯来ると家具持出し篝火を焼き市中
甚だ騒し今夜は野宿をへき模様なり

○花巻郡より七時三十分

里川口潰れ二軒大破三軒花巻は潰れ十七軒半潰れ八軒大
破十軒負傷者三人地盤裂けて水湧出つ委後より其地模様
頼む

○黒澤尻町より午後九時五十分

劇震あれども異状なし平線は山山明たり

○宮古測候所発電

本日午前三四午後四時四十分十五秒及び五時九分五十五秒強震其後
續震十二回あり

○南北九戸郡長発電(午後九時発)

午前九時以來數度の震動あり午後三時半四時半の二度強震あり
人心恟々鎮撫盡力中土藏の壁落すたる外被害あり

○東西磐井郡長發電(午後九時發)

午前八時頃より地震九回程其他激震午後九時頃まであり内午後五
時頃大地震石垣の破壊等往々あり

○當盛岡市は早朝六時頃より奇怪の震響動揺甚しく其數
幾回なるを知らば殊に午後三時過よりは屋も壊れん許りの大震
市民は陰雨も拘らず街路より戸板を敷きて露宿するもの多し市内
にて尤も強きは仙北町又新田町も劇しく監獄の壁は所々欠陥せり
今尚震動中

○市内にて倉庫家屋の壁崩れし所諸所人心恟々市民大
半眠に就かず

○鐵道は此震響の爲に三戸屋内間の陸道崩壊したり又盛岡
と日詰間にローレ曲^がを成あり盛岡と好摩間も多少の破壊
あり汽車は上り下り共に止まる

○縣廳は書記官始め重立役人夜詰各地への電報應酬に
忙はし郡市役所學校高張提灯にて吏員詰居れり

○警察本部にては夜間警部巡查召集して市内を巡視せり

○久慈町にては大洪水あり浸水家屋百四十戸餘あり

○直行發の列車郵便物皆戻り來る鐵路不通

大劇雨辰景報

始めに海嘯の慘に接し中頃洪水の害に遭ひ今又劇震の變
驟る天異地妖寧ろ斯う如きあらんや我縣民の不幸是に至り
て極點に達せりと云ふべし真に痛嘆長息に堪へざるなり

昨日に於る震災の一斑は取り敢へず別項号外を以て報せしが如く
一昨日未大小二百回に垂んとする震動は暫しも絶へ間なくイロ
々天柱挫け地維裂くるの大凶變となりもやせんかと人心恟々
其の堵ま安んぜず眷属相扶け老幼相戒め一昨夜未より惨雲
断續月色凄其たる邊に露宿して其運命を大地に敷き、
詰めたる幾片の板戸に托し夜を徹してマンじりともせざるもの此
々皆是れなり凄惨の状筆紙の悉し得る處はあらず其の
間殷々たる遠雷の如き、郷音の綿々として絶へるなきと共に
に小震劇震の襲来しころもの幾回なるを知らべかうざる程
ありしも不幸中の幸か遂に阿鼻叫喚の修羅場を呈出
する道に至らずして千万無量の危懼と恐懼とを以て包
まれたる一昨夜は明け放れたり

叔聖朝来も引續きて數十回の大小震動あり人心更に落ち付
く處をらむ其梗概を左に列記せん

○市民は最寄りくにて戸板々等を敷詰め肝要の物品衣
類食料等思ひくに用意して此に露宿したるが就中縣
社八幡社内内九公園地等一面に此等避難者を以てせん
又各高家い夫れく高貴品を土藏に入水込みて万一の
變に處し巡查は非常召集とあり各派出所に増員し
火の用心や混雜に乗去て窃盜徘徊の虞あれは此等に関
する注意を爲し各消防組は器具を整頓してイザと云ハ
い駆付けんと用意おされ怠らず其光景中々にもめず
かりし

○市内又て川原町吉田金太郎方土藏二棟仙北町磯田源

太郎方全三棟内村廣治方全一棟菊池茂八方全一棟佐藤清
右三門方全一棟関口藤右門全棟金沢長次郎方全棟は何れも
東北方の外壁墮落し小笠原惣吉方土藏一間に三間の一
棟は全潰其他亀裂を生じたる土藏頗る多く大清水小
路官所場横町へ曲目三間餘中一寸は亀裂を生じ前記
仙北町の金沢長次郎方の裏板塀倒れ各寺院の墓石は
算を乱して狼籍たり明治橋上の土も亀裂を生じ新
穀町の木津屋系屋兩家の井戸の石垣も崩れたり尚ほ
傾斜したる家屋も多少之れある趣きなり
○今回の劇震にて産後の婦人や氣弱の子女等にして恐
怖の餘り俄然發病したるもの多く醫師の繁忙一方
ならずと云ふ

○其節の警告に依り市中各家は火の用心の爲めランプを廢し
て蠟燭を用ゐることとなりたれば市中の蠟燭は忽ちに拂
底を来たし提灯の賣行も非常なりし

○安政年度の大地震は恰も七月十三日にして今回は四十二年を
隔て、シカも同月同日に此劇震なり何等の縁因ぞや奇と
云ふべし故老が當年の慘状を今更の如くに繰り返して眞及心
忡々たるも宜なる哉

○花巻警署署者九月一日午後發電

鉛、大森、山崩れ湧湯止まり臺も湧湯止り何れも人畜に別害なし

○郡山警署署者九月一日午前七時十分發電

昨午後當地無二の地震あり今尚震動絶へず人民避難手
配中北上川渡舟顛覆乗組廿人余生死不明取調中

○岩谷堂警察署九月一日午前八時十三分着電

昨三日午前より今午前一時迄、大小の地震瓦十二回内午後五時過に劇震の爲めに岩谷堂附近土藏瓦三千余破損人五名死傷なし

○盛岡にて昨夜(廿日)八時四十八分より本日午前八時五十分迄に百四十回以上の震動あり

○栗石村の震郷音、潰家六戸壁剝落し又は傾斜を来したる家屋は百五十戸土藏破壊は悉皆寺院に破損は三ヶ所人五名死傷あり秋田街道筋黒澤川橋落つ耕地の亀裂は幅員五寸乃至二寸位道路亦亀裂多し

○村上参事官野崎技手は昨日震災地視察に巻町に出張梅内医師も赤十字社を代表し慰問として昨日花巻町へ出張

○郡書記出張南北岩手紫波郡書記遠藤至政村木經之赤

澤長成の三氏は昨日震災地ある栗石地方へ出張

○小崎警部の出張を先きに震災実況視察として栗石橋場方面へ出張の處一昨日帰盛せうれが全氏の談話に依れ本縣と秋田縣界なる駒ヶ山嶽内なる芹澤と稱する處あり此澤は過日未より鳴動の噂さ専なるより今回の震源は或ハ此處にてはあらざるかと同氏が親しく之れが實驗を識みんとせしも兎角案内とすべき人丈もあらざりしより不本意からも實驗を遂げずして帰盛せしか又もや今回の劇震にて益々之れが實驗の要を感じたれば同氏ハ一昨夜十時過ぎ鞍馬を驅りて同地方探検として出張ありたりとぞ

○沼宮内附近の震災 全地方も亦劇震にて岩手山附近村落建物壁等欠裂三十餘鐵道線路凹處四道路線亀裂衣二

ヶ所ありとの急報あり

○安庭村震況 全村にてハ潰家一戸破損数戸道路中
築立に属する分破壊撃村温泉湧口は一時湧湯止り大根
畑に植付置きたる大根抜け出で畦は偏平となりたりと
○栗石附近の震況別報一昨日午前八時三十分烈しき鳴動駒ヶ
山獄方面に聞ゆると同時に劇震あり交々来りて午後四時
に至り尚ほ一層の劇震あり壁を落し家財を轉倒したる
に引續き午後五時十分大鳴動と共に劇烈なる震動
起り戸障子を対し床を落し人々匍匐して難を避け
殆んど直立する能はざりき而して全潰倒六戸著しく傾
斜したる者凡十三戸其他皆多少の破損あり塀等の
轉倒せるもの殆んど全部に至る井水河水暗黒色に濁り

三三

飲料水に究て得へた者漸々ニヶ所に過ぎず大地に亀裂をまじた
る場所最も甚しきは幅二寸乃至三寸長サ十五六間に渉るものあり
何れも不規則として東北南西等殆んど龜甲体に潰裂せし處もあ
り或ハ二三寸位陥落せし土地も有りしも幸ひにして人畜に死傷
なく何れも戸外に假住所を構へ家中は居るもの一人もなく人
心恟々役場貧消防夫等村内を絶へば巡邏し火災等の豫防
に注意中又同村入口にある黒澤川に架設せる橋梁(秋田街道)
墜落往來不通鳴動今尚歇まず葛根田方面は稍々弱しとの
噂さあり橋場、通むる山中大木巨石等路上に轉落せる場
所もあり随ふて夜中の通行危険なりと云へり橋場も亦家
屋土藏等多少の破損あり栗石より橋場を通むる中間、し
部落春木場酒屋小田某方の酒倉倒潰せりと云ふ

○汽車平常に復す 一昨日劇震の爲め北方は當駅好麻手間南方は當驛より七八哩以南及び花巻黒沢尻間何れも破損を生じたる爲め北方は上り終列車を好麻手に止め多心工事は着手午後十時當駅に着す南方は下り列車黒沢尻に止まり昨日の直行列車と共に定時より三時二十分程後れて着したるも本日より全く平常に復せり
(以上九月二日岩手公報)

◎各地震災彙報

○當市に於ては一昨日の午後より稍震動緩みたれども左りとて全く鎮靜したりと云ふにもあらに劇震微震屢々來り而して彼の殷々たる一種の鳴動は昨日に懸けて尚ほ止まず劇震微震時に至りて一昨夜の如きも前夜程あらねども市民相警戒して夜を徹したるもの少からず人心尚ほ全く落ち付かず皆万一

の變あらんかと危惧し居れり、

○西和賀郡平和街道節なる湯田村字土場大石間の山も此度の劇震にて崩潰したりと云ふ

○南岩手郡内山村大釋温泉地方並に瀧澤村附近の震災景況は大釈より西南に方れる高倉山の内三角山傾斜面の巖石數々所墜落し劇震の際には人馬全く歩行叶はず大釋温泉に入浴の爲め諸所より滞留中の者百二十餘名ありしかしと當所よりの通路にある城川橋(長さ二間幅一間は)全部墜落し岩手山溪谷に突屹せる巖石は墜落せるもの多きも噴火等は更に之れあしと温泉附近の家屋等轉落破損頗る多し瀧沢村字焼屋敷にては石碑標柱悉く轉倒し

家屋土藏等は亀裂を生じたるも人畜には死傷なし今
郡内御明神村字志戸前なる磁磁石山は欠壊し常石村より
望む其欠壊四五間四方は認め得らる云ふ

○紫波郡々山は三十日午後五時半山岳の鳴動と共に劇震起り
屋上の石を飛はし建造物を傾斜せしめ或は道路の亀裂衣あり
り人民は屋外に露宿したり又本紙前跡に取り敢へず
報せし如く北上川助古館村地内下町渡船場を於て今日午後五時
四分頃十五人乗りの渡舟に二十人を乗らしめ漕が、付けたる矢先
きに劇震起り舟轉覆乗客皆弱水たるも幸ひに何れも夫れ
く沿岸に遊き付き死傷を免れたるも長岡村の稻瀬岩之壑
ある者は行衛不明なるが多分水底の砂層と化したるべしと
云ふ

○北岩手郡の被害ハ巻塚村に於て道路二亀裂二十ヶ所家屋土
藏共十壁落六橋全亀裂七棟駐在府土壁欠落一棟畑筒の折
れたる者二ヶ所大更村に於て土藏土壁欠落一棟欠落全
亀裂衣一棟田頭村に於て土藏壁欠落一棟亀裂一棟家屋十
壁欠壊十棟あり

○西和賀郡内に於てハ全部崩潰の家屋澤内村大字太田十八戸
同新所三戸同前郷一戸同郡湯田村大字湯本湯沢の温泉
浴客には異状なきも微震今に止まず川尻警察署は殆ん
と使用に堪へざる程に破損し川尻橋も亦破損したりと一昨
日午後十一時迄の電報に見ゆ

○今回の地震にて其の被害の最も烈しきは稗貫郡花巻
町附近なるが扱て同町を数日以前より寒暖度を失ひ風雨

時を嫌はず微震屢ありて人心恟々安き心もなかりしは
客月三十一日の午後四時三十分に至り一大劇震とあり震
動劇しく人々皆屋外に駈け付老幼子女の泣叫ぶなど
奇災又惨憺たる光景を呈し家屋倉庫の破壊道路の
亀裂衣欠損等數十箇所にして其中最も被害の甚しき
は花巻町字鍵町及び一日市町裏とし鍵町乃如きは町内の
最新低所にてあれを劇震起るや道路の亀裂甚しく
甚しく其の裂け目より泥水混々と噴出し見らく三尺餘
の深さとなり料理店門茶屋の離れ座敷を始め十五六戸
の家屋其の中に潰倒し什器家具の流亡少からず幸ひに
潰破の難を免れたるものも噴水の深さと地盤の動揺
とに依り避難の場所に苦み救助を求むるの惨状云ふ

べからむ一日市町裏手は噴水の難を受けきりしも潰家五
五戸あり是れ亦非常の騒動ありし里河口町字銀治町に
て一戸潰破せしが其の跡より火を出さんとて警鐘を乱
打したるにぞ人心強々恐慌を極めたりしか人々駈け付け幸
くして消止め先づは火羅丈免れたりしは不幸中の幸な
り此劇震の爲一尺幅以下の亀裂衣を生じたるは無数とし
て町中損損害の甚しきは時計店洋酒店カラス屋小
にして目下夫れく取調中なりと云へり

の稗貫郡内震災被害は一日市町裏調査したる分は左の如し
町村名

- 里河口町 員傷三、家屋二、半潰一、建物三崩三、大破一、少二、物損小三
- 花巻町 員傷一、全三四、全十六、全四、全六、全二八、全〇、火三四

根子村 破屋半潰一 大破四 小二 建物大一小四
 宮自村 全〇 全二 全大 小四
 大田村 死一 全潰一 建物〇 十一
 湯田村 死一 全潰一 建物半潰二 全破換小八
 湯本村 全六 全半四 全八 全四六 破二 小三九 全五
 新堀村 全六 全半四 全八 全四六 破二 小三九 全五
 釜畑村 破換小九 建物大五
 好地村 破換小三 建物大二
 八幡村 破換小三
 大迫町 半潰一
 合計 死一 傷人四 破屋四 全潰一五 半潰五 破換小一二 破換小八五
 内花巻 破換二 湯本村 破換二 大破一

盛岡市に於ける震災の状況

○市内各小學校は其の教場は大抵二階又あるもの多く旁にて劇
 震以來万一對變を慮り去一日臨時休業翌二日と午前十時迄授
 業せしが廿時一昨日未震動も稍々緩みたれば昨日は平常の如
 く授業をなせり

○昨夜八日曆二十夜に方りたれば地震の用心旁たかた夜もすから
 月をおかむもの多かりしあらん

○地震の爲めに蕎麦屋の損害今田の大劇震當日は八月
 晦日にて俗に晦日蕎麦を喰へば小遣に困らぬとか前夜は
 必高家にては常の三倍の高ひありとか古来よりの云ひ傳へに
 てあり例にして晦日に於て蕎麦屋の敏系昌はきまり切つたる
 事なれど同日は市内の各蕎麦屋ともは平日に倍したる仕込

を爲し千客万來と待ち受け居たるも圖らずも彼の劇震とあり其筋の注意に依り万一の火災を豫防の爲め火を焚くことを禁ぜられたるのみならず一程の騒ぎに如何に縁喜を祝へるとして蕎麥どころにはあらねば客一人もあらず爲めに同業者の恐慌一方ならず本町橋本屋の如きは惜しや三十餘箱府内ろしたりとぞ尚ほ同店にては此の損失あるも拘らぬ翌日は遠慮として臨時休業したりと云ふ

○一昨日未より震動の度数も大に減じたれども彼の二種の鳴動は今尚ほ止まず随ひて人心も未だ全く落付く處に至らぬ

(九月四日岩手公報)

○劇震當日に於ける金石の騷擾去る三十日の劇震には何處も騷擾を極めざるはあり中に南閉伊郡金石の如きは特に甚たしかりし其の次第は同町は目下嘯災後の小屋掛其他にて多數の手足を使用し夫れく善後策に就て日も亦足らざるの大混雑中端なくも同日午後五時三十分に至り彼れが如き劇震とあり土地に亀裂を生ず山も二三ヶ所崩壊し石應寺の上壁も落下し各土藏何れも壁に欠裂を生じ引き續きて微震止まざるにぞ危なきに嘯災の慘状に人心未だ落付かざるにぞ折柄として定めし再度海嘯襲來すべしと其騷擾一方あらざる爲めに同町役場までハ町内中央高燥ある敷地内に元一番消防組を於て使用せし半鐘を打ち鳴したるらんには之れを相圖は海嘯來せず

もと覺悟し夫れく避難すべしとの示達を爲し居たる
に程経て田中製鐵所の所有船(凡千石積み)に備付け
置きし時鐘が七時の刻を報ぜんが爲めに鏘々と響き
渡りしより人心逆上せん許り又恐慌の折柄とて深くも
思案する暇もなくそりやあこその所役場が達しの半鐘
鳴りたるもと津浪々々と其周章狼狽の極町民は右
往左往に逃げ迷ひ特に之氣の毒千萬あるは目下尚は仮
病院に入院中なる患者の驚愕一方あらず過般の
嘯災にて足部を挫折し目下漸く治療経過の宜否患
者して歩行の叶はる患者の如きは匍匐して裏手の公苑地
に辿り付くたと折角の療養も其の甲斐なく更に以前
増したる重症に陥るあり其の惨状云々からざる程なりし

に後にて海嘯を報するの警鐘をあらわして琴浦丸の
時鐘と判然し何れも夢の覺めたる如く左るにても所役場
が斯る示達を爲さざらんには此の憂目にも出達はかりしと
嘆くものもあり實に非常の騷擾にてありたる由

○山崎理學士一行 今度の地震調査として出張せし山崎理
學士は米倉巡查と共に去る五日南岩手郡御明神村大字
橋場に至りしが折しも荒川出水にて同夜は同川沿岸に
設置しある検疫所を一泊翌六日減水に乗じて同船を渡り
小柳澤安插上野を實検し栗石に至り翌日同所を出發
し御所山伏峠を経て西和賀郡太田村地方を實検し
夫れより秋田縣に白け出發せらる
○湯田澤内兩村人畜死傷數

今日の劇震に最も其の被害の甚しき西和賀郡内湯田村は死者一名重傷者四名軽傷者十二名斃死馬五頭、負傷馬一頭、同澤内村は死者一名重傷者四名軽傷者五名斃死馬五頭なりと云ふ
(九月九日岩手公報)

○岩手縣激震

八月三日午後特急

朝未雨降り強風吹く此四五日前より屢々地震鳴動あり本日モ激震三回に及び人心悩々たり

○同激震後報

(盛岡八月廿日午後特急)

地震益々多く且つ強震を極む縣下花巻地方に潰家三十餘戸其他東阿伊郡山田町及仙氣仙郡地方にも被害多く鳴動盛なるよし

同岩手縣知事特報

〇〇

渡船の轉覆

九月一日午後九時五分

昨日激震の際日誌にて北上川渡船轉覆し乗組二十人全生死不明取調中右申報す
八月二十日

又兩三日未微震ありしが本日午後五時五分強震あり管内多少被害ありし今取調中

○盛岡の地震

三日午後七時十分盛岡局発

去る二十三日未日々地震絶へず今午後五時十分激震壁々落ちたる箇所もあり盛岡日詰間、盛岡好摩間、尾内三戸間汽車不通ラニアを廢し蠟燭に替へて警戒中

○岩手縣山田の地震同三十日午後六時十分陸中山田局發

午後五時三十分激震あり仮局舎裏口の御倉山三ヶ所地割れ危殆なり依て局舎を便宜の場所に移し事務を扱ふ

○岩手縣黒澤尻の地震 同三日午後陸中黒沢尻局發
只今地震あり激震の爲め電柱倒れ鐵道線路破壊し好摩手近の
列車運轉を中止せり

○岩手縣の地震詳報

九月一日午後七時七分岩手縣知事發

昨朝近秋田縣境駒ヶ嶽附近に鳴動聞え是と同時に十数回の地震あり
午後五時五分の震動最も激烈なり微震は無数被害の判明せしもの
は花巻にて潰家十九半潰八、大破十二員傷者三名警察署の櫛筒崩
れ大破、鉦臺、温泉に沸騰止まる岩谷堂附近土藏凡そ三千餘破損
南岩手郡栗石村の全潰六戸甚だしきは傾斜十三戸其他破損少ながら
井水濁る、盛岡、一関、宮古、盛岡、福岡等は孰れも激震の爲め多
少の被害あるも人畜には死傷なり目下取調中右申報す

(以上九月二日時事新報)

○岩手縣の地震

陸中黒澤尻九月一日午前九時廿八分特發

岩田黒沢尻(停車場所在地)は昨日八月三十一日午後より鳴動あり午後三時比
強震、同、五時半頃激震ありしも別段の被害なかりし花巻
(停車場所在地)には潰家二十戸北岩手郡川口町には同三戸あり
花巻好摩手兩停車場間は線路破損して汽車不通となりしも六
時間を経て修復成り全通したるよし鳴動は今朝も三度あ
り宿屋にては二階に客を通さず市民も夜は雨戸を明け放し
て寝る杯の騒ぎなり

○岩手縣の地震別報

盛岡九月一日午後特發

地震の被害は縣下各地にあり花巻、日詰、水澤の各町及び
常市附近南岩手郡栗石村脚明神村地方最も劇しく湯温
泉湧湯止り山明水井水赤く濁り潰家死傷等無算に

して爾來人心安せず夜も碌々眠るを得ずと云ふ

○岩手縣の地震

陸中黒澤尻九月三日午前六時五十分発

(東和賀郡横川日村字ヒトヤチにて宮本特派員)

岩手縣東和賀郡横川日村より秋田縣に出つるヘイワ街道破壊し人馬通ずべからず大石にて道路普遍請の土方四百三十人重傷を被りたる由にて只今六時一當地まで擔き來れり西和賀郡は人家少き割合に破壊多し内郡澤内村の内字大田中四十戸越中畑六戸、中町一戸、新町一戸破潰之其他越中畑、サソウの二箇所に失火ありしとの説あり

同九月二日午前十時 都鳥特派員發

余は只今當驛(黒澤尻)に着せり聞く處によれば花巻の潰家は三十六戸怪我人は十三名あり地盤の亀裂幅四尺餘箇所六十

に及猶ほ地震鳴動日々十五六回づゝあり人心恟々たりと云ふ或岡の雄駒岳は鳴動烈しく被害の箇所多しと云ふ

同或岡九月三日午前特發

數日來時々發起りたる震動は稍々緩み來れり縣下西和賀郡に於ける潰家三十餘戸死者二名負傷者十名あり震源は駒ヶ岳なりとの説あり

九月四日時事新報

岩手縣震災詳報

一昨日來大小百數十回の震動ありて殆んど絶間なく屋外に飛出したる者僅に室に入れば又直に飛出すが如き騒ぎにて人心恟々たる折柄午後五時過に至り天柱摧け地軸裂るおと思ふ程の大震動あり三十日の夜ハ縣廳の注意に依り威

岡市中一体に洋燈を廢し蠟燭に換へ戸板を屋外に
聯水眷属相依り老幼相戒めて一夜を戸板の上に明し縣社
八幡宮境内及び公園地等は一面に避難者を以て充たされたり
此夜黒雲断續時に月光を漏らし時に雨を降らし駒ヶ岳の
鳴動ハ殷々として遠雷の如く大小の震動終宵絶間な
く警官等は非常召集を命じ消防組は器具を整頓し
てイザと云はば駆け付んと用意に怠りなく各官署は門
前に高張提灯を點じ吏員の出入徹る如く光景悽慘
戦々兢々の裏に夜は明けたり市中の被害は土藏の全潰一
半潰は八亀列衣を生じたる土藏頗る多く大清水の路
の通路は長サ三間餘の亀列衣を生じたり各郡部の景況は
未だ詳細の報知に接せざるも栗石村にて潰家六戸傾斜家

緊

屋百五十餘戸土藏は悉皆破壊し秋田街道節黒澤川筋
橋落且つ右街道各所に亀列衣を生じ長サは十五六間に
及びたるものありて其状ハ不規則を極め東北南西等亀
甲形に列衣け又大木巨石の路上に轉落したるものありて
盛岡より秋田を通ずる街道は交通全く杜絶せり又繁
村温泉は震動と共に湧止み同村大根畑に植付置きた
る大根は悉く抜出て、地上に轉がり畦は平編となりた
り山巖手山附近の村落にては建物ハ倒壊等も少からず
鐵道線路に四ヶ所の凹みを生じ道路ニヶ所亀列衣せり
又盛岡日詰間に於てレールの曲りたる所あり釜石にては
海嘯後の事として八田の強震又人心堵に安んぜず再び
津波の襲来せる前兆ありと云の説起り人々家具を

持出し算火を焚き人民悉く野宿せり

(九月四日東京朝日新聞)

88